

## 令和2年度(2020年度)岩手県立病院等事業運営方針

令和元年度(2019年度)から令和6年度(2024年度)までを計画期間とする「岩手県立病院等の経営計画[2019-2024]」では、次の4つの基本方針を掲げ、県民への良質な医療の持続的な提供のため、様々な取組を進めることとしています。

### 《基本方針》

「心のかよう、患者中心の医療の展開」	〈患者本位〉
「職員が働きがいを持つ職場づくり」	〈職員重視〉
「健全経営に向けた経営の効率化」	〈不断の改革改善〉
「地域と一体となった医療の確保」	〈地域との協働〉

令和元年度(2019年度)においては、「岩手県立病院等の経営計画[2019-2024]」の初年度として、県民、患者や職員にも魅力ある県立病院をめざし、地域包括ケアシステム構築への参画、医師確保対策、医師の業務負担軽減の推進、職員の確保と職員の勤務環境の改善、患者のQOLに配慮した各種指導の充実などに取り組んできました。

令和2年度(2020年度)は、計画に掲げる5つの基本方向ごとの重点取組事項を着実に実行することにより、県民へ良質な医療の持続的な提供及び持続可能な経営基盤の確立に向けて、全職員一丸となって取組を進めてまいります。

### ■■ 令和2年度(2020年度)に最重点として取り組む事項 ■■

#### 1 県立病院間・他の医療機関及び介護施設等を含めた役割分担と地域連携の推進

- ・ 圏域内への効率的な職員の配置、支援体制の構築等による一体的な運営
- ・ 新公立病院改革ガイドライン、岩手県地域医療構想、医療政策の動向や地域医療ニーズを踏まえた病床の機能、病床数・病棟数の見直し
- ・ 地域包括ケアシステム構築への参画
- ・ 地域における役割分担と医療・介護・福祉等関係機関との連携強化

#### 2 良質な医療を提供できる環境の整備

- ・ リハビリテーション提供体制の強化
- ・ 多職種間の協働等によるチーム医療の推進
- ・ 医療安全対策の推進・強化
- ・ 劣化調査結果を踏まえた病院の施設・設備の計画的な改修の推進

#### 3 医師不足解消に向けた医師の育成・確保と医師の負担軽減に向けた取組の推進

- ・ 県立病院専門研修プログラムや指導體制の充実による専門医の育成
- ・ 奨学金養成医師の効果的な配置
- ・ タスク・シフティング、タスク・シェアリング等による医師の業務負担軽減
- ・ 医師の働き方改革を踏まえた対応策の検討

#### 4 職員の資質向上と患者数等の動向や新規・上位施設基準の算定を踏まえた人員の適正配置

- ・ 看護、薬剤部門等各職域の専門資格職員の計画的な養成
- ・ 病児保育の導入など働きやすい職場環境の整備
- ・ ワークライフバランスを考慮した勤務環境の整備
- ・ RPAなどICTの活用による業務の見直しと職員の意識改革の推進

#### 5 持続可能な経営基盤の確立

- ・ 令和2年度(2020年度)当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定、定期的な検証による経営計画に掲げる目標の達成
- ・ 新規・上位施設基準の早期算定に向けた院内体制等の整備

## 《令和2年度（2020年度）重点取組事項》

### 1 県立病院間・他の医療機関及び介護施設等を含めた役割分担と地域連携の推進

#### (1) 県立病院群の一体的・効率的な運営

##### ① 一体的な運営に向けた取組の強化

- 職員の効率的な配置等による地域病院への支援体制の構築など、圏域内の一体的な運営の推進

##### ② 圏域内及び圏域を越えた応援体制の構築

- 地域病院の診療応援体制の充実に向けた広域人事異動システムの円滑な運用に係る圏域内の調整支援
- 圏域内調整及び肋骨連携支援に係る打合せ会議の開催
- 薬剤師、看護師等の圏域を越えた応援体制の確保

#### (2) 各病院が担うべき役割と機能・病床機能適正化

##### ① 病院ごとの役割・機能の見直し

- 岩手県地域医療構想調整会議における議論を踏まえた、地域の医療資源の状況等、実情に応じた病院ごとの役割・機能の見直し

##### ② 病床機能、病床数・病棟数の見直し

- 新公立病院改革ガイドライン等、国や県の医療政策動向や地域の医療ニーズを踏まえた病床機能、病床数・病棟数の見直し

#### (3) 他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携

##### ① 医療・介護・福祉の連携強化

- 地域包括ケアシステム構築への参画
- 地域の医療・介護・福祉等関係機関との協同による連携会議・研修会の開催による連携強化
- 職員配置計画を踏まえた入退院支援に携わる看護師及び医療社会事業士の体制強化【医療社会事業士の増員：2人】

##### ② 病院等施設の空きスペースの活用

- 空きスペースの活用に係る地元自治体との協議、現在活用している施設の状況把握

#### (4) 地域との協働による病院運営

##### ① 広報活動等による県民理解の醸成

- 広報戦略の策定や医療局ホームページの見直しなど情報発信の取組強化
- 「県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議」と一体となった広報活動の実施

##### 【経営計画に掲げる目標】

- ・大きな病院と診療所の役割分担の認知度：61.2%

##### ② 運営協議会等の開催

- 県立病院運営協議会の開催【全圏域】

##### ③ ボランティアとの協働

- 病院ボランティアの受入推進

## 2 良質な医療を提供できる環境の整備

### (1) 患者中心の安全・安心な医療の提供

#### ① 医療の質の確保

##### ア 病院機能評価受審の推進

- 病院機能評価の受審【更新：大船渡病院・釜石病院・胆沢病院・中部病院・大東病院】

##### イ リハビリテーション提供体制の強化

- 職員配置計画を踏まえた体制の強化【理学療法士：3人、作業療法士：3人、言語聴覚士：2人】
- 市町村事業など圏域内リハビリ事業への参画

##### 【経営計画に掲げる目標】

- ・ 365 日リハビリテーション実施病院数：11 病院
- ・ 休日実施病院：7 病院

##### ウ クリニカルパスの精度向上と患者のQOLに配慮したパスの見直し

- DPC分析によるクリニカルパスの標準化（医療資源投入量や在院日数等の適正化）
- クリニカルパスへの指導料（薬剤管理指導、栄養食事指導等）の組み込みの推進
- クリニカルパス研修会の開催

##### 【経営計画に掲げる目標】

- ・ クリニカルパス使用率：65.0%

##### エ 多職種間の協働等によるチーム医療の推進

- 看護、薬剤、栄養、MSW等の専門性を生かした入退院支援部門の充実
- 薬剤部門
  - ・ 病棟薬剤業務の病院規模による標準化
  - ・ 外来診療支援業務の推進
- 看護部門
  - ・ 特定行為看護師の計画的な養成
  - ・ 特定行為看護師による特定行為の実施及び活動の評価
- 放射線部門
  - ・ 放射線画像の読影補助の推進
  - ・ 放射線関連情報の共有化及び安心・安全に行える放射線検査の説明の推進
  - ・ 医療被ばく情報の共有による医師の業務負担軽減（患者への説明等）
- 検査部門
  - ・ 臨床検査技師による超音波検査及び採血・検体採取の推進
  - ・ 臨床検査技師による病棟・外来業務（生理検査・輸血業務等）の見直しによる出向検査の推進
  - ・ 臨床検査技師による検査説明の推進
- リハビリ部門
  - ・ 専門認定資格取得の促進によるチーム医療への貢献
  - ・ リハビリテーション計画書等の作成・説明に係る補助の推進
- 栄養部門
  - ・ NST専門栄養士の育成によるチーム医療への貢献
  - ・ 管理栄養士の病棟担当制の実施による入院栄養指導及び患者食調整の推進

## オ 大規模災害等に対応できる防災体制の整備

- BCPに基づく研修・訓練等の実施
- 職員に係る備蓄物資の整備【5か年整備】

【R2年度(2020年度)の取組目標】

- ・BCP訓練実施病院：20病院

## ② 医療安全対策・感染対策の推進

### ア 医療安全対策の推進・強化

- 画像診断報告書等の見落としを防止するためのシステムの運用
- 診療に係る情報を確実に伝達・確認する体制等の構築
- 医療事故防止対策や人材育成など医療安全対策の徹底

### イ 医療メディエーターの活用推進

- 医療メディエーター養成研修会の開催

### ウ 感染対策の推進

- 感染管理等に係る専門職の育成【感染管理認定看護師育成数：2人、感染制御認定薬剤師育成数：3人、感染制御認定臨床微生物検査技師育成数：4人】
- 感染管理認定看護師等の県立病院間支援の継続

## ③ 患者満足度の向上

- 患者満足度調査の実施及び結果の共有
- 各病院等における改善計画の作成及び取組報告
- 研修の実施による接遇の向上

【経営計画に掲げる目標】

- ・患者満足度調査における満足度：入院94.5% 外来94.9%

## (2) 病院の施設・設備の整備

### ① 病院の施設・設備の計画的な改修

- 劣化調査結果を踏まえた病院の施設・設備の計画的な改修の推進

### ② 高度医療機器の効率的な整備

- 高度医療機器の効果検証等、必要性・有用性等の十分な精査
- 遊休資産の有効活用(共有ファイルの活用等)
- 多様な整備方式の試行継続

## (3) 電子カルテ・診療情報の共有

### ① 電子カルテの導入・更新

- 電子カルテ導入【九戸地域診療センター、沼宮内地域診療センター】
- 電子カルテ標準化の推進
- マイナンバーカード保険証利用に向けたオンライン資格確認システムの導入

### ② 診療情報共有システムの機能強化・各圏域の医療機関等との連携

- 県立病院診療情報共有システムの機能強化及びデータ連携・共有機能の整備【連携データの拡充：6項目(超音波レポート、超音波画像、内視鏡レポート、内視鏡画像、心臓カテーテル検査レポート、心臓カテーテル検査動画)】

- 二次保健医療圏連携システムの導入検討への参画
- 岩手県医療情報連携ネットワークシステムへの参画
- 医療現場におけるICTの利活用検討

### 3 医師不足解消に向けた医師の育成・確保と医師の負担軽減に向けた取組の推進

#### (1) 医師育成・確保に向けた取組

##### ① 医師の育成

- 臨床研修医合同オリエンテーション、医師臨床研修指導講習会等の開催による臨床研修医・指導医のスキルアップ
- 専門研修プログラムや指導體制の充実による専門医の育成
- 県立病院の連携による研修受入体制整備

##### ② 医師の確保

- 関係大学に対する継続した派遣要請の実施
- 重点的なアプローチによる即戦力医師の招聘活動の推進及び医師の定着に向けた意見交換等のフォローアップの実施
- 医療局医師奨学資金への産婦人科特別枠の創設による産婦人科医の確保
- ホームページ見直し等による医師募集広報の強化
- 医師の任期付職員（シニアドクター）及び育児短時間勤務女性医師（ママドクター）の採用推進
- 本県出身学生に対する県人会等での働きかけの実施
- 奨学金養成医師の効果的な配置及び早期義務履行の促進

##### ③ 地域・診療科の偏在の緩和

- 地域病院の診療応援体制の充実に向けた広域人事異動システムの円滑な運用
- 圏域内における診療応援及び肋骨連携による圏域を越えた連携
- 奨学金養成医師の効果的な配置及び早期義務履行の促進

##### ④ 初期研修医及び専攻医の確保

- 関係大学等への専門研修プログラムのPR等による専攻医の確保
- 初期臨床研修の充実
- 臨床研修医・指導医のスキルアップによる受入体制の充実
- レジナビや合同説明会等での学生への働きかけ

##### 【経営計画に掲げる目標】

- ・ 新規招聘医師数：9人
- ・ 奨学金養成医師配置数：20人（配置1年目義務履行者）
- ・ 初期臨床研修医数：115人

#### (2) 魅力ある勤務環境への改善

##### ① 医師の業務負担軽減

- タスク・シフティング、タスク・シェアリングの推進  
(診療部門)
  - ・ 医師の働き方改革を踏まえた医師間のタスク・シェアリングによる業務負担軽減策の検討

(薬剤部門)

- ・ 病棟薬剤業務の病院規模による標準化
- ・ 外来診療支援業務の推進

(看護部門)

- ・ 特定行為看護師の計画的な養成
- ・ 特定行為看護師による特定行為の実施及び活動の評価

(放射線部門)

- ・ 放射線画像の読影補助の推進
- ・ 放射線関連情報の共有化及び安心・安全に行える放射線検査の説明の推進
- ・ 医療被ばく情報の共有による医師の業務負担軽減（患者への説明等）

(検査部門)

- ・ 臨床検査技師による超音波検査及び採血・検体採取の推進
- ・ 臨床検査技師による病棟・外来業務（生理検査・輸血業務等）の見直しによる出向検査の推進
- ・ 臨床検査技師による検査説明の推進

(リハビリ部門)

- ・ 専門認定資格取得の促進によるチーム医療への貢献
- ・ リハビリテーション計画書等の作成・説明に係る補助の推進

(栄養部門)

- ・ NST専門栄養士の育成によるチーム医療への貢献
- ・ 管理栄養士の病棟担当制の実施による入院栄養指導及び患者食調整の推進
- 医療クラークの体制強化による医師の外来業務支援【追加配置数：○人】
- 医師の働き方改革を踏まえた医師の労働時間の適正化に向けた対応策の検討
- 多職種間の協働等によるチーム医療の推進

## ② 働きやすい職場環境の整備

- 女性医師支援のための総合的な施策（岩手JOYサポートプロジェクト）の推進
- 仕事と家庭の両立支援（24時間保育・病後児保育・学童保育等）
- 病児保育の導入

## ③ 医師の勤務環境改善

- 医師の勤務環境及び生活環境の向上
- 勤務医との意見交換の実施

## 4 職員の資質向上と患者数の動向や新規・上位施設基準の算定を踏まえた人員の適正配置

### (1) 人材の育成・確保

#### ① 職員の安定的な確保

- 就職説明会へ参加及び養成校等訪問による人材の確保

#### ② 各病院の機能・医療ニーズに応じた職員の育成

- 岩手県地域医療構想調整会議における議論を踏まえた、地域の医療資源の状況等、実情に応じた病院ごとの役割・機能の見直し
- 専門資格取得に係る研修派遣の拡充
- 医療の質の向上や評価、経営分析を行える職員育成に係る研修への派遣

### ③ 専門性に優れた職員の育成

- 人事の複線化等の検討
- 看護管理者の育成、監督者研修、経営幹部職員研修等の受講によるリーダーとなる人材の育成
- 人材育成計画に基づく専門・認定資格者の育成

#### 【経営計画に掲げる目標】

- ・ 特定行為に係る看護師数：3人
- ・ 認定看護師数：7人
- ・ 専門・認定薬剤師数：4人

#### 【R2年度（2020年度）の取組目標】

- ・ 認定等放射線技師資格取得者数：1人
- ・ 認定等検査技師資格取得者数：6人
- ・ 認定等療法士資格取得者数：7人
- ・ NST専門療法士資格取得者数：2人
- ・ 給食特殊専門調理師資格取得者数：2人

### ④ 効果的な研修の企画・実施

- 職員の適正配置に向けた効果的な研修の実施
- 医療環境変化の対応に必要な研修への派遣及び開催【病院経営分析研修派遣者：18人】

## (2) 働きやすい職場環境

職員が意欲を持って働くことができる職場環境の整備と職員の離職防止に向けた取組の推進

### ① 職員満足度の向上

- 職員満足度調査の結果及び医療局重点取組項目（超過勤務の縮減、ハラスメント防止対策の推進）を踏まえた、病院・職域ごとの取組の実施
- 病院・職域ごとの取組実績の評価・公表

#### 【経営計画に掲げる目標】

- ・ 職員満足度調査における満足度：—（隔年調査）

- ハラスメント防止対策の推進【ハラスメント防止セミナー参加者：200人以上】
- 職員の勤務環境の向上

### ② ワークライフバランスを考慮した勤務環境の整備

- 育児・介護のための休暇・勤務時間制度、職場の実情に応じた多様な勤務形態（二交代12時間勤務、夜勤専従）の導入
- 超過勤務縮減推進月間の実施等による超過勤務の縮減【平均超過勤務時間数：前年度比△10%】
- 休暇計画書の活用による年次休暇の取得促進
- 代替職員をあらかじめ確保することによる産前産後休暇・育児休業等が取得しやすい環境の整備【代替職員の確保：看護15人、医療技術6人】
- 病児保育の導入

### ③ 業務の見直しと職員の意識改革の推進

- 看護業務量調査の実施及び調査結果を踏まえた業務の見直し
- 業務改善に向けたコンサルティング業務委託の実施

- RPAなどICTの利活用による事務業務の見直しの推進
- 休暇や超過勤務、出勤簿等を一体的かつ効率的に管理できる新たな勤務管理システムの導入

#### ④ 職員の健康サポート

- 職員定期健康診断、各種検診及び予防接種の実施
- ストレスチェックの早期実施及びフィードバックによる心身に不安を持つ職員への支援
- 復職支援プログラムの周知及び運用支援

### (3) 職員の適正配置

#### ① 地域医療福祉連携の効果が発揮できる体制の構築

- 職員配置計画を踏まえた入退院支援に携わる看護師及び医療社会事業士の体制強化

#### ② 医師及び看護師の負担軽減、良質な医療の提供等のための職員体制の整備

- 職員配置計画を踏まえた医療技術部門の体制強化
- 医療クラークの体制強化による医師の外来業務支援
- 産育休等に係る代替職員の確保

#### ③ 給食業務に係る職員体制の確保、安定的な給食業務の継続

- 基幹病院への新調理方式の導入による調理師の負担軽減【大船渡病院、久慈病院】
- 質の高い委託業者の確保による安定的かつ効率的な給食業務の実施【一戸病院、東和病院】

## 5 持続可能な経営基盤の確立

### (1) 病院マネジメント

#### ① 経営計画の推進

- 中期財政見通しに基づく経営計画の見直しによる検証改善（PDCA）サイクルの徹底
- 令和2年度（2020年度）重点取組事項に基づく主要課題の着実な取組の推進

#### ② 病院ごとの経営目標の設定と進捗管理

- 令和2年度（2020年度）当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定
- 本庁と病院との情報交換会等の実施、進捗管理

### (2) 適正収支に向けた取組

#### ① 収益の確保

##### ア 新入院患者の確保

- 急性期病院を中心とした紹介・逆紹介の推進等による、新入院患者の確保

##### イ 施設基準の早期算定に向けた院内体制の整備

- 新規・上位施設基準の早期算定に向けた院内体制等の整備

##### ウ 標準的効率的な医療の提供

- 全国DPC病院のベンチマーク分析、DPCデータ分析に基づくクリニカルパスの見直しの推進

##### エ 算定強化等による収益の確保

- 指導料等の算定強化等による収益確保の取組
- 請求精度の向上による査定減防止への取組徹底及び再審査請求の促進
- 診療部門と協力した特別室の利用促進と算定率向上



オ 地域の実情等に応じた公衆衛生活動の実施

- 人間ドック、各種健康診断、各種予防接種の実施

② 費用の効率的執行

ア 職員の適正配置

- 病床適正化等を踏まえた職員の適正配置

イ 投資的経費の効率的な執行

- 劣化調査結果を踏まえた病院の施設・設備の計画的な改修の推進
- 高度医療機器の効果検証等、必要性・有用性等の十分な精査

ウ 薬品・診療材料等の効率的な調達

- 推奨後発医薬品の品目追加による後発医薬品の使用拡大
- 使用指針及び選択基準を含む採用品目集（医療局フォーミュラリー）の作成
- ベンチマーク情報等を基にした薬品の廉価購入の推進
- SPDデータを活用した同種同効品の整理統一及び診療材料の廉価購入

【経営計画に掲げる目標】

- ・後発医薬品数量割合：88.5%

【R2年度（2020年度）の取組目標】

- ・診療材料費対入外収益比率：10.77%

エ エネルギー使用量の削減

- エコマネジメントシステムに基づく取組の推進

【R2年度（2020年度）の取組目標】

- ・温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）使用量削減：△1.1%

オ 給食業務委託の質の確保

- 給食業務委託導入後の運用支援
- 給食業務委託業務評価項目の評価と見直し【業務委託評価検証：年4回】

③ 個人未収金の縮減

- 病院全体での発生防止、回収の取組
- 支払いやすい環境の整備
- 滞納債権回収業務委託や法的措置の実施による回収強化
- 不能欠損処理の実施

【経営計画に掲げる目標】

- ・過年度個人未収金額／医業収益：0.61%

【経営計画に掲げる目標】

- 経営状況の検証に用いる経営指標及び数値目標

- ・経常収支比率：101.5%
- ・医業収支比率：87.1%
- ・職員給与費対医業収益比率：61.0%
- ・材料費対医業収益比率：27.9%
- ・病床利用率  
センター病院及び基幹病院（内陸南部）：83.0%

基幹病院（県北・沿岸部）：73.0%

地域病院：73.0%

精神科病院：72.0%

○県立病院として担うべき医療機能の確保に係る指標及び数値目標

- ・紹介率（基幹病院）：58.0%

- ・逆紹介率（基幹病院）：65.0%

- ・初期研修医1年次受入数：57人